

コード	402040101
記入日	H25.6.6

課コード	115
課名	農林課
課長名	下山 透
担当者	川畑 圭司

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	イノシシ捕獲報奨金事業
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	1
基本事業コード	40204	基本事業名称	有害鳥獣対策の強化	目コード	3
事務事業コード	4020401	事務事業名称	鳥獣被害防止総合対策事業費	細目コード	883
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町有害鳥獣防除奨励報奨金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 狩猟免許取得者	(対象指標1) 60人					
(対象2)	(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・上五島猟友会への説明：年1回 ・報奨金交付件数：318件	***** 説明会開催	***** 1回	***** 100%	説明会実績÷ 説明会計画	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	捕獲報奨金制度の説明を交付対象者の猟友会へ行った。趣旨については理解されていることから、目的は達成された。			
		***** 報奨金交付件数	***** 318件	***** 100%	報奨金交付件数÷ 報奨金申請件数	***** 平成24年度
		② (達成率分析)	申請内容を確認し、申請者全てに交付した。			
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 捕獲頭数	***** 2,889頭	***** 192.6%	捕獲実績÷ 捕獲計画	***** 平成24年度
	・有害鳥獣から農作物被害をなくすため、捕獲した者に報奨金を交付し、有害鳥獣の頭数の削減を図る。	① (達成率分析)	捕獲目標1,500頭に対して、実績が2,889頭であり、目標は達成できた。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	8	8	7	1	1				
	② 件	1,834	1,834	1,516	318	318				
成果指標	① 頭	13,416	14,805	11,916	1,500	2,889				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	85,646	85,646	67,570	18,076	18,076				
直接事業費 A	千円	80,046	80,046	62,670	17,376	17,376				
人件費 B	千円	5,600	5,600	4,900	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.8	0.8	0.7	0.1	0.1			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	85,646	85,646	67,570	18,076	18,076				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	農作物被害を少なくするために必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	被害金額が減少しているので、成果はもたらしている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	現制度にて充分である。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	必要最小限の経費で事業を実施している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	事業推進上できない。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	捕獲頭数も年々増加しており成果が確認できるが、イノシシ肉加工との相乗効果を引き出すことが課題である。
------------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。